

議第15号議案

米不足と価格高騰に対して、緊急対策と抜本対策を求める意見書

上記議案を別紙のとおり提出いたします。

令和7年6月12日提出

提出者	新座市議会議員	小野由美子
賛成者	//	高邑 朋矢
	//	石島 陽子
	//	笠原 進
	//	小野 大輔
	//	黒田 実樹

提 案 理 由

生産基盤が弱体化している中で、米不足は今後も続く可能性がある。トランプ関税により、米国産米を更に市場開放する動きもある。政府が米の需給と価格安定に責任を持ち、多少の不作や需給増でも不足しないように、ゆとりをもって生産量や備蓄を確保することを求めるため、この案を提出する。

米不足と価格高騰に対して、緊急対策と抜本対策を求める意見書

「備蓄米の放出が始まったのになぜ米は高いのか」「食べ盛りの子どもがいて大変」「主食のお米は国産米を食べたい」等、国民の声は切実です。政府はこれまで、「もうすぐ新米が出回る」「流通が目詰まりしている」等として有効な手立てを打ち出そうともしませんでした。

米不足の原因は、「米の消費は減っている」として政府が生産量の削減を現場に求めたことによります。より根本的には、米の需要と価格を市場任せにしてきたことにあります。政府は2013年に閣議決定した「日本再興戦略」で当時60キロ1万6,000円（全国平均）だった米価を9,600円程度に下げることが目標に、米生産の主流だった兼業農家への支援をほとんど無くしました。

稲作農家はこの四半世紀で121万人減の53万人となり、800万トン以上あった米の生産量はこの20年間で150万トン以上減少し、作付面積は40万ヘクタール減少しています。2021年産米はコロナ禍で需要が大幅に減少したため在庫がだぶつき、生産者米価が大暴落、米農家の時給は10円という悲惨な事態が広がりました。この時も政府は米が過剰だからと年間20万トン以上の減産を強い、更に在庫を減らしてきたことが現在の米不足と価格高騰につながっています。

生産基盤が弱体化している中で、米不足は今後も続く可能性があります。トランプ関税により米国産米を更に市場開放する動きは看過できません。政府が米の需給と価格安定に責任を持ち、多少の不作や需給増でも不足しないように、ゆとりをもって生産量や備蓄を確保すること、豊作などで供給が上回った場合は備蓄に回すことが必要です。

よって、米不足の実態把握や高騰する米価格の安定、フードバンクや子ども食堂への支援、外国産米を増やす計画には毅然として反対するなどの緊急対策を求めます。

併せて、国民の主食である米を将来にわたって安定供給するために、価格保障や所得補償などで農家が安心して米作に励める条件を国の責任で整えるために、農業予算の抜本的な増額を強く求めるものです。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

令和7年6月 日

埼玉県新座市議会

内閣総理大臣 様

財務大臣 様

農林水産大臣 様